

平成 29 年度在宅療養推進事業実施結果（平成 29 年 12 月末現在）

<p>●在宅療養の推進</p> <p>高齢者等が在宅で安心して療養できる体制を構築する。</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養希望者数の増加 ・在宅療養の実現が可能であると思う区民の増加 ・在宅看取り率の増加 	<p>【所管】</p> <p>地域医療課 高齢者支援課</p>
--	--	-------------------------------------

1 多職種の連携強化

※ 【在宅】・・・在宅療養専門部会、【認知】・・・認知症専門部会

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①医療と介護の連携	事例検討会・交流会 4回/年 事例集の作成 多職種連携研修 2回/年	<p>【実施回数】3回（4地区各1回）</p> <p>【参加者数】延325名/354名（参加率91.8%）、傍聴63名（※第2回は傍聴なし）計388名 （28年度：4回実施490名）</p> <p>【参加職種内訳】ケアマネジャー 約30%、薬剤師 約25%、看護師 約20%、医師・歯科医師 約5% 等</p> <p>【実施テーマ】睡眠薬に依存しないための支援、他職種に対する希望メッセージの共有、「食べたいものを食べたい」本人の希望実現への支援</p> <p>【満足度】「非常に満足」「満足」の回答割合：第1回82%、第2回91%、第3回86%</p> <p>【他職種の理解度】「他職種の理解が深まった」の回答割合：第1回66%、第2回94%、第3回90%</p> <p>【実施回数】1回 3月実施予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携に対する意識 「多職種連携における自身の職種の役割の理解が深まった」85% （第1回77%、第2回89%、第3回88%） 「他職種の理解が深まった」83% （第1回66%、第2回94%、第3回90%） <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携に対する意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者層の多様化（開催日時の検討） 	<p>【在宅】</p> <p>地域医療課 高齢者支援課</p>
②病院と在宅スタッフとの連携	訪問看護同行研修 退院支援の課題抽出	<p>同行訪問</p> <p>【実施病院数】4病院</p> <p>【参加者数】38名</p> <p>【満足度】86%（※12月14日回収分まで）</p> <p>【訪看業務に対する理解度】100%（※12月14日回収分まで）</p> <p>振返研修</p> <p>【実施予定病院数】1病院（28年度：1病院） H30.2.27実施予定</p> <p>【予定参加者数】30～40名（うち訪問看護ステーションから5～9名参加）</p> <p>【満足度】●%</p> <p>【訪看業務に対する理解度】●%</p> <p>【意見交換会開催回数】8回（4地区ごと2回ずつ）</p> <p>【参加職種】病院・在宅医・訪看・居宅・高齢者相談センター</p> <p>【参加者数】各回9～11名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護業務に対する理解度 同行訪問 86% 振返研修 ●% <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告書の作成 平成29年度 意見交換会終了（全3回/地区） 同年度内に報告書を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きの簡素化 ・ガイドラインの周知 ・対象病院の拡大 	<p>【在宅】</p> <p>地域医療課</p>
③情報共有	情報共有ツールの活用 連携シートの活用	<p>医師会において、平成28年1月から試行的に実施。ICTの活用について医師会等と協議し、検討を行う。</p> <p>高齢者相談センターおよび居宅介護支援事業所にて平成27年11月から15,000部配布中。</p> <p>【周知】区民（区報、窓口、講演会等啓発事業で周知）、区内医療機関、民生委員（見本・案内を配付）練馬区薬剤師会認知症研究会、事連協研修会</p> <p>【寄せられた声】「認知症の方に限らず高齢者に必要」「認知症になってからでは遅い。元気うちに医療機関に関係者を伝えるべき」（病院連携室） 災害時に活用できる」（事連協） 「自分は必要となる」「一人暮らし、出歩くのも困難だけど使いたい」（区民） 「配布場所を拡大できないか」「お薬手帳との組み合わせはグッドアイデア」（薬剤師）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度（医療介護従事者、患者） ・連携における利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知、利用促進 ・薬局での配布 ・医療機関での確認等の推奨 	<p>【在宅】</p> <p>地域医療課</p>
					<p>【認知】</p> <p>高齢者支援課</p>

2 サービス提供体制の充実

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①人材の確保・育成	ケアマネジャー向けの在宅療養に関する研修	地域カンファレンス ※練馬、光が丘、石神井、大泉の4圏域で実施 【参加者数】 総計 191名 (内訳) 練馬:63名、光が丘:44名、石神井:30名、大泉:54名 【満足度】 99% (研修の理解)、100% (仕事への活用) 地域カンファレンス全体報告会 【参加者数】 124名 【満足度】 99% (研修の理解、仕事への活用いずれも)	・満足度 地域カンファレンス 99%~100% 地域カンファレンス全体報告会 99%	・ケアマネジャーへの更なる事業周知 ・圏域別地域カンファレンスの充実 (事例検討の時間および回数が増)	【在宅】 高齢者支援課
	若年性認知症支援力向上研修	【実施回数】 1回 【参加者数】 23名 (ケアマネジャー5名 介護職等13名 生活相談員4名 サービス提供責任者1名) 【満足度】 90% (研修の理解、仕事への活用いずれも)	・満足度 90%	・参加者数の増加 ・参加しやすい日程等の調整	【認知】 高齢者支援課 練馬区介護人材育成研修センター
②24時間体制・後方支援病床の確保	後方支援病床の確保	【利用者数】 延68件 (12月末現在)	・利用した在宅医の負担軽減度 医療・介護資源調査にてアンケート実施 認知度 79% 事業評価 (良いと思った割合) 87%	・更なる周知啓発	【在宅】 地域医療課
③相談・診療体制の充実	医療と介護の相談窓口	在宅療養に必要な医療と介護のコーディネートのための医療・介護連携推進員の配置 (H27~) 【医療・介護連携推進員】 高齢者相談センター本所 4か所 【医療相談実績】 延1,598件 【退院カンファレンスへの参加実績】 34件	・医療・介護連携チームの編成数 医療・介護連携チームの構築 延40件	・窓口の再編の周知 ・窓口の再編に伴う、推進員候補者の在宅療養相談・支援力向上	【在宅・認知】 高齢者支援課
	認知症相談事業の充実	専門医等による訪問相談および医療・介護のコーディネートのための認知症地域支援推進員の配置 (H27~) 【認知症地域支援推進員】 高齢者相談センター本所 4か所 【本所で受けた認知症相談】 延1,892件 【認知症相談事業協力医】 10名 【認知症相談実施】 4所×9回 【相談件数】 21回 49件 【訪問相談の実施 (初期集中支援チーム)】 13件 (医師同行5件内数)	・医療や介護サービスにつながった件数 医療機関との連携 延520件 ケアマネジャーとの連携 延434件 介護サービス事業者との連携 延223件	・相談事業の事務局変更に伴う調整 ・今後の事業実施内容について医師との調整	【認知】 高齢者支援課
④地域資源情報の提供環境の充実	地域資源情報の構築	医療と介護の情報サイトの更新 【掲載情報】 全種介護保険サービス事業所 (約1,000件) 病院・診療所 } 訪問歯科診療所 } 東京都医療機関案内サービス (ひまわり) とリンク 訪問薬局 } 地域包括支援センター (29件) 生活支援情報 (約450件)	・満足度 「介護事業者の情報などを相談で活用している」 「サロン活動など、参考になる」 「訪問していただける近隣の歯科が見つかった」	・周知、利用促進	【在宅・認知】 高齢者支援課 地域医療課
⑤介護老人保健施設の調査研究	介護老人保健施設ワーキンググループの開催	ワーキンググループ 【実施回数】 2回 【参加老健】 区内全14法人 (理事長・事務長・理学療法士・ケアマネジャー等) 【参加者数】 各回11名~13名 報告会 【実施回数】 1回 【参加職種】 病院 (看護師、MSW、リハ職)、居宅、在宅診、訪看、高齢者相談センター 【参加人数】 9名	・調査研究報告書の作成 ・ガイドブックの作成	・更なる情報発信 ・周知啓発のための場づくり ・ガイドブックの普及	【在宅】 地域医療課 介護保険課

3 区民への啓発・家族への支援

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①区民への啓発	講演会の開催 (区内4地区対象): 4回)	【実施回数】4回(4地区各1回) 【総計】参加者244名、満足度92%、在宅療養希望者数152名/62%(無回答を除くと73%) 【参加者数】第1回:46名、第2回:82名、第3回:57名、第4回:59名 【満足度(参考になった)】第1回:86%、第2回:95%、第3回:92%、第4回96% 【在宅療養希望者数】第1回:29名/66%、第2回:54名/76%、第3回:33名/66%、第4回:36名/64%	・在宅療養希望者数 練馬区年高齢者基礎調査 高齢者一般 25.3% 要介護高齢者 31.1% これから高齢期 30.0%	・講演職種等の検討	【在宅】 地域医療課
	認知症講演会の開催	延参加者数 417名	・認知症に対する理解度	・参加者数の増	【認知】 高齢者支援課
	認知症フォーラム:1回/年	認知症フォーラム 1回 【参加者数】52名 【満足度(良かった)】79%	・認知症に対する理解度		
	認知症地域講座:4回/年	認知症地域講座 3回 【参加者数】298名 【理解度(わかりやすかった)】96%	・若年認知症に対する理解度		
若年性認知症講演会:1回/年	若年性認知症講演会 1回 【参加者数】41名 【理解度(参考になった)】97%	・認知症の人の地域生活に対する理解度			
区民啓発ガイドブックの活用 ・在宅療養ガイドブック ・認知症ガイドブック	在宅療養ガイドブック 【発行部数】42,000部(27年10月～) ※12,000部増刷内数 認知症ガイドブック 【発行部数】33,000部(28年3月～) ※3,000部増刷内数 【配布先】(1)高齢者向けの区立施設 (2)医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、病院 (3)町会・自治会 【学習会】2回(地域団体等)29年4月～	・在宅療養に対する理解度 練馬区高齢者基礎調査 在宅療養が難しいと思う理由 「在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからない」 高齢者一般 22.4% 要介護高齢者 20.0% これから高齢期 12.4%	・配布場所の充実 ・改訂版の発行 10,000部	【在宅・認知】 地域医療課 高齢者支援課	
②地域資源情報の提供環境の充実	地域資源情報の構築(再掲)	医療と介護の情報サイトの更新 【掲載情報】全種介護保険サービス事業所(約1,000件) 病院・診療所 } 東京都医療機関案内サービス(ひまわり)とリンク 訪問歯科診療所 } 訪問薬局 } 地域包括支援センター(29件) 生活支援情報(約450件)	・満足度 「介護事業者の情報などを相談で活用している」 「サロン活動など、参考になる」 「訪問していただける近隣の歯科が見つかった」	・周知、利用促進	【在宅・認知】 高齢者支援課 地域医療課
③地域における支え合いの強化	認知症の人や介護家族への見守りの推進	【認知症サポーターの養成と活用】認知症サポーター養成 47回 1,737名 累計22,138名 ステップアップ講座参加者 2回 75名	・事業への認知症サポーターの参加 ステップアップ修了者中、区の見守り事業等への協力者 累計32名	・区事業等へのサポーターの活用	【認知】 高齢者支援課
④在宅生活支援の充実のための取組	介護なんでも電話相談	毎水曜日実施 30回 95件 【相談者の声】「(介護の悩みを)聴いてもらうことで整理ができる」(リピーター) 「(介護の悩みを)どこに相談すればよいかわからなかった。助かった」 「(介護の)苛立ちを治めることができた」	・満足度	・周知、利用促進	【認知】 高齢者支援課
	介護家族の学習・交流会	3回 83名	・満足度(負担感軽減) ・家族会や高齢者相談センターの利用	・参加者数の増 ・家族会や認知症カフェの周知、利用促進	
	認知症の人の生活講座(再掲)	【認知症の人の地域生活】 生活講座にて地域密着型サービスを紹介 1回 【参加者数】26名 【理解度(参考になった)】100%	・認知症の人の地域生活に対する理解度	・参加者数の増 ・地域密着型サービスの周知	

4 在宅療養の現状の経年的把握

課題	取組	実施結果	成果指標	今後の課題	担当・所管
①在宅療養資源に対する課題の把握	医療・介護資源調査の実施 ・関係者へのアンケート 1回/3年 (在宅療養推進事業計画に併せ実施)	<p>【調査内容】・在宅医療・介護の提供状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の状況 ・今後の取り組み ・在宅療養推進事業の認知度 <p>【調査期間】平成29年7月26日～8月31日</p> <p>【調査対象】病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所</p> <p>【配布数】 1,572</p> <p>【回収数】 716（46%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護資源の増加数、増加割合 ※平成29年4月と10月時点の比較 在宅診数：+1.5%（67→68 機関） 歯援診数：+13.3%（30→34 機関） 在宅患者訪問薬剤管理指導実施薬局 ：+1.2%（251→254 機関） 訪問看護：+6.1%（49→52 事業所） 居宅：±0%（209→209 事業所） ・在宅療養の充足度（見つけやすさ） 往診・訪問診療 98% 歯科往診・歯科訪問診療 96% 訪問調剤 93% ショートステイ 95% 		【協議会】 地域医療課
②看取りの実態の把握	死亡小票分析の実施 1回/1年	※平成30年度の実施を予定	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看取り数、看取り率の増加割合 在宅見取り数 在宅見取り率 ・在宅看取り医療機関数 区内在宅見取り医療機関数 区内医療機関在宅見取り数 区内医療機関在宅看取り率 		【協議会】 地域医療課